



TTBiz2026 (JA Travel and Tourism Business Program) 募集要項

～アジアの高校生と一緒に旅行ビジネスプランを作ろう!～

2026年6月

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

はじめに

日本は豊かな観光資源に恵まれ、円安もあり海外旅行先として大変な人気を博しています。しかし同時に、環境破壊や地域住民の生活を脅かすなど、オーバーツーリズムが社会問題になっています。TTBiz2026では、日本の高校生とアジアの生徒と一緒に「サステナブルな旅とは何か」という視点で、ユニークな観光・旅行ビジネスのアイデアを立案します。

TTBizとは

韓国、シンガポール、フィリピンをパートナーとして、「次世代グローバル人材の育成」を目標に2012年にスタートしました。単に英語力を問うのではなく、自身の意思を伝えたい、あるいは相手の考えを理解したいという意欲を持ち、異なる価値観や文化を持つチームメンバーと能動的にコミュニケーションを行うことで、新たな価値を生み出せる真のグローバル人材育成を目指します。

本プログラムは、チームアドバイザーの企業社員から助言を得ながら、様々なオンラインツールを駆使して多国籍チームで議論、旅行企画立案、4ヶ国をZoomで繋いで行うプレゼンテーションなど、貴重な体験ができるユニークなものです。また、全て企業からの寄付で運営する非営利の教育活動です。

TTBizの目的

- 自国の文化・歴史・価値観等を再認識し、海外へ説明できる、また他者の意図の理解力
- 異なる文化・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかろうとする意欲
- 自分で課題を発見し、問題解決に向けて行動できる積極性
- チームディスカッションを通じて様々な異なる意見をまとめるリーダーシップ
- クリエイティビティ、マーケティング、PR、チームワーク、スケジュール調整、プレゼンテーションなど、将来グローバル社会で求められるビジネススキル
- 単に利益を上げることを目的としたビジネスアイデアではなく、社会にポジティブなインパクトを与えるための視点



TTBiz2026の進め方

2人組でエントリー。日本の高校生は、くじ引きで韓国、シンガポール、フィリピンのうち2ヶ国の高校生ペアとチームを組み、計3ヶ国から成る多国籍チームで協業、与えられたテーマに対するビジネスプランを立案します。書類選考を通過したチームは、更に企業社員がチームアドバイザーとなり、ウェブ会議やメールなどでアドバイスを受けながら企画をブラッシュアップ。予選のプレゼンテーションを通過したチームは更に最終審査会へ進み、最も優れたチームは、海外メンバーと共に日本でのスタディツアーに参加し、初めて対面でチームワークを深めます。(全てのプロセスは英語で行われます)

【学校にお願いしたいこと】

生徒が自主的に進めるプログラムのため、企画内容についての指導は不要ですが、下記をお願いいたします。

- 事務局であるジュニア・アチーブメント日本との連絡窓口
- 学校でグループ活動を行う際は、ネット会議へ接続できるインターネット環境と会場の確保(自宅も可)
- 最後までやり遂げられるよう生徒への動機付け、社会人と接するにあたってのマナー指導

参加資格 (定員 30 ペア) ~ を全て満たすことが参加条件です

高校1~2年生、必ず2名1組のペアで申し込んでください。1校あたりの参加ペア数に制限はありませんが、**長期にわたるプログラムのため、最後までやり遂げようという意欲を持った生徒**の選出をお願いいたします。異なる学校の生徒同士でチームを組んでも結構です。今回から**高校3年生の参加は不可**とします。英語スキル(読む、聞く、書く、話す)がある、もしくは積極的に伸ばしたいという意欲があること
異なる文化や習慣を持つ海外の高校生と、積極的にコミュニケーションを図る意欲があること
自ら問題を発見し、解決に向けて行動できる積極性があること
事務局・アドバイザー社員は、社会人として生徒と接します。場合によっては厳しい指摘・指導もあります
全員学校が休みの時も確認できる添付ファイル受取り可能なメールアドレスを保有していること

yorikr@ja-japan.org からのメールを受信できるよう設定願います

キックオフミーティング・予選会・最終審査会 (Zoom によるオンライン実施) に全員参加できること(予選は書類選考通過チーム、決勝戦は予選通過チームのみ)

プログラムの事前・事後に実施されるアンケートに全て回答すること

TTBiz 実施中に短期留学など校外の他プログラムに並行参加しない

より多くの生徒さんに体験していただくため、**過去に TTBiz に参加していない**こと(コンセプトペーパー選考を通過できなかった方は参加資格あり)

連絡窓口となっていただけのご担当教員が1名決まっていること

生徒本人ならびに保護者の方に以下の事項にご了承いただけること

- ✓ 活動の様子は、写真・ビデオ撮影されること。また、撮影された写真およびビデオは、プログラム普及活動等およびジュニア・アチーブメント日本、アクセンチュア株式会社、デルタ航空の広報活動等において公開される可能性があること
- ✓ メディアの取材等が入り、活動の様子が一般公開される可能性があること

参加費用

無料(オンライン参加のためのネット環境とデバイス準備は自己負担)

参加チーム選考のステップとお申込み方法

➤ **ステップ1**

希望生徒の有無に関わらず、学校名 教諭氏名 メールアドレス 電話番号を明記の上まずはご担当教諭より yorikr@ja-japan.org までエントリーシートをご請求下さい。

➤ **ステップ2**

次の2点を提出

エントリーシート(生徒自身がチームで記入)

パワーポイント1枚の課題

2026年7月15日(水)必着で送付

➤ ステップ 3

ステップ 3 で提出された を審査し、**2026年7月21日(火)まで**に参加可否をご担当の先生と生徒さんにお知らせいたします。

特別協賛: アクセンチュア株式会社

主催: 公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

協賛: デルタ航空



お申込・お問い合わせ先

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本 Eメール: yorikr@ja-japan.org 担当: 黒木
完全リモートワーク中につき、お問い合わせは必ずメールでお願いいたします。

活動スケジュール(キックオフ、予選、最終審査会以外は予定ですので変更の可能性もあります)

日程	活動
8月16日(日) 14:00-16:00	キックオフ: 概要説明、チーム組合せ発表
8~9月(日時未定) 2回	Input Session: スペシャリストによるオンラインレクチャー
9月: ここまでは生徒のみで活動	コンセプトペーパー作成
10月2日(金): コンセプトペーパー提出締切 10月16日(金): 書類選考通過チーム発表	書類選考通過チームに担当アドバイザーを紹介
10~11月の提示された日時から選択	中間報告会(チーム別公式 Zoom 会議)
11月中旬~2027年1月: チーム毎に活動	アクティビティレポート提出、リハーサル実施
2027年1月24日(日) 14:00-17:00	予選会
2027年3月7日(日) 13:30-17:00	最終審査会(予選通過チームのみ)
2027年6月中(仮)	優勝チームの日本スタディツアー

過去の参加生徒の声(抜粋) KSさん(2024年度優勝チーム生徒)

TTBiz で最も学んだことは、「多様な価値観を理解し、受け入れる姿勢」の重要性です。国内外から集まった参加者たちと意見を交わす中で、自分の考え方が必ずしも「正解」ではないことを実感し、相手の立場に立って物事を考える視点を養うことができました。またリサーチのみに限らず実際に現場で働かれている方にインタビューを行うことで、その土地に根付いたスピリットを感じるとともに、日本の文化のすばらしさに改めて気が付くことができました。リアルな旅行プランを考案するうえで、課題解決プロセスやチームワークの在り方についても理解が深まりました。

一方大変だったことは、多様なバックグラウンドを持つメンバーと、意見の違いを乗り越えて一つの提案をまとめることでした。時間が限られた中で、話し合いを円滑に進める力や、自分の意見を論理的に伝える力が求められ、大きな挑戦でした。

今回得た学びや経験は、将来どのような職業に就くとしても活かせると感じています。特に、異なる価値観を持つ人々と協働し、共通の目標に向かって努力する力は、グローバル社会で不可欠です。今後はこの経験を基に、さらに視野を広げ、実践的な力を磨いていきたいと思っています。

➤ ジュニア・アチーブメントについて

米国で発足した世界最大の経済教育団体で、設立 100 年を超える民間の非営利団体です。日本本部の設立は 1995 年で、教材を導入する学校は全国に拡大しています。社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路選択・将来設計が行えるよう、基本的資質（主体的に社会に適應できる力）を育むための支援を提供しています。詳しくは、ウェブサイト www.ja-japan.org をご参照ください。

➤ アクセンチュアについて

アクセンチュアは、世界有数のソリューションとサービスを提供する企業として、世界をリードする企業や組織の変革を支援しています。企業や組織の中核にデジタル技術を実装し、AI の力を最大限に活用して、比類なきスピードで全社規模の価値を創出しています。アクセンチュアは、約 786,000 人の人材、独自のアセットやプラットフォーム、そして強固なエコシステムとの連携を通じて、最も選ばれる変革のパートナーとしてお客様を支援しています。さらに、世界で最もお客様の価値創出に注力し、AI を活用するとともに、働きがいのある企業であり続けることを最優先に掲げています。アクセンチュアは、ストラテジー、コンサルティング、テクノロジー、オペレーションズ、ソング、インダストリー X の領域をまたぐ体制と、深い業界知見を組み合わせたビジネスユニット「リインベンション（再創造）サービス」を通じて、お客様に革新的なソリューションとサービスを提供します。「テクノロジーと人間の創意工夫で、まだ見ぬ未来を実現する」というパーパスのもと、すべてのステークホルダーへ 360 度の価値を創造することを自らの成功の指標としています。

アクセンチュアの詳細は <http://www.accenture.com/us-en> を、アクセンチュア株式会社の詳細は www.accenture.com/jp-ja をご覧ください。

➤ アクセンチュア株式会社の企業市民活動について

アクセンチュアは、「テクノロジーと人間の創意工夫でまだ見ぬ未来を創造する」ことをパーパスに掲げ、企業としての成長と同時に、社会全体の持続的な発展に貢献することを目指しています。私たちは、事業活動にとどまらず、企業市民としての責任を果たすことこそが、社会的価値の創出につながると考えています。

その考えのもと、ビジネスの枠組みだけでは解決が難しい社会課題に対しても、社会貢献活動として主体的に向き合ってきました。社員の行動指針である 6 つのコアバリューの一つ「Stewardship（スチュワードシップ）」は、社会に対して責任を持ち、より良い未来を次世代へ引き継ぐという、私たちの企業市民としての姿勢を体現しています。

こうした価値観を基盤に、本業で培った知見と社員一人ひとりの情熱を掛け合わせ、各時代の社会課題の中から特に「人」に関わる課題を見極め、その解決に向けたイノベーションの創出に継続して取り組んでいます。